

第6回吹田貨物ターミナル駅調整会議 議事要旨

1. 日 時：平成27年5月14日（月） 9：50～10：20
2. 場 所：JR貨物 吹田貨物ターミナル駅 3階会議室
3. 出席者：別紙出席者名簿参照
4. 議事内容

(1) 吹田貨物ターミナル駅および大阪圏4駅の平成26年度貨物取扱量について
JR貨物が資料に基づき説明しました。

- ・吹田貨物ターミナル駅の貨物取扱量は58万トンであり、協定の遵守事項である年間100万トン以内となっています。
- ・他の大阪圏の駅も含め、平成25年度と比較し、ほぼ横ばいとなっています。
- ・吹田貨物ターミナル駅の中継取扱量は40万トンであり、協定の遵守事項である年間45万トン以内となっています。

<質疑応答>

Q：あまり増減はないということですか。

A：はい、そうです。資料の通りであり、大きな動きはありません。

Q：この取扱量は、協定を遵守するために調整を行っているのですか。

A：毎年、総合的に考えてダイヤを策定しています。その計画に基づき運行しており、調整は行っていません。

Q：（協定の45万トンに近づいている）中継取扱量も調整できるのですか。

A：中継量が45万トンを超過する恐れがある場合は、協定遵守事項である45万トン以内となるように事前に調整いたします。

(2) 吹田専用道路の交通量について

JR貨物が資料に基づき説明しました。

- ・3月に1日最大通行台数が過去最高の933台を記録しましたが、協定の遵守事項である1日1,000台以内となっています。
- ・900台を超えた日は1日、800～900台の日は3日あり、800台以上の日は計4日ありました。

<質疑応答>

Q：3月の自動車通行台数が多い理由は何でしょうか。

A：引越しが3月に多くあり、それを含めて年度末は多くなります。

(3) その他

〈質疑応答〉

Q：吹田貨物ターミナル駅で事故があったとき、連絡してもらえないでしょうか。大きな事故などで緊急車両が走行していたら、地元の方々に何があったのかと聞かれることがあり、説明できないと困ります。例えば先日岸辺駅ホームで人身事故がありました。小さな事故は別にして、そういうときに情報が欲しいです。

A：岸辺駅についてはJ R西日本の管轄なので当社は管轄できませんが、貨物駅の駅構内で大きな事故等が発生した場合は、連絡できるよう考えたいと思います。具体的な連絡の方法については、吹田市とも相談させていただきたいと思います。

以 上